



Peace Now! Okinawa News vol.2

今回のテーマは「Peace Now! Okinawaのご案内」

私が変わる。明日が変わる。

日時・集合・解散場所について

日時：2017年 9/4(月)～9/7(木)

集合場所、集合時間：未定(7月上旬に確定)

12時那覇空港目安でお越しください

解散場所：沖縄国際ユースホテル 解散時間：14:30

(〒900-0026 沖縄県那覇市 奥武山51

URL：<http://www.oiyh.org/>

沖縄はどのようなところ？

①1945年4月1日

アメリカ軍は、硫黄島の日本守備隊を全滅させた1945年(昭和20)3月23日から南西諸島への猛爆撃と艦砲を行い、沖縄戦が開始されました。[アメリカ軍は4月1日に沖縄](#)

[本島の中部西海岸に上陸。日本軍の抵抗はなく、「無血上陸」を果たします。](#)このとき、沖縄守備軍は首里司令部を中心にたてこもり、持久戦に備えていました。

②1945年6月23日

1945年6月23日、日本軍の第32軍司令官・牛島満と参謀長官・長勇が自決し、[沖縄戦](#)

[の組織的戦闘が終了しました](#)(しかし生き残った日本兵による戦闘が続く)。この6月23日を沖縄県では「慰霊の日」として定め、平和祈念公園では沖縄戦全没者追悼式が行われます。

③1972年5月15日

戦後、サンフランシスコ講話条約により日本から分離された沖縄では祖国復帰の闘いが発展し続け、[1972年\(昭和47\)5月15日に日本復帰が実現しました](#)。しかし、復帰時点で県民が要求していたのは「核も基地もない緑豊かな沖縄」。まだ、帰ってきていません。

沖縄で起こったこと



沖縄ではおよそ20万人という大変多くの民間人が戦争により犠牲となりました。その背景には、単に相手国の問題だけでなく、もっと複雑に絡み合った問題があることがわかります。

沖縄は日本で唯一、地上戦が行われた場所でした。相手国、日本軍、そして民間人が同時に沖縄の地に存在していたことになります。お互いの軍が衝突を繰り返す中、民間人は軍の侵攻に振り回され、また衝突に巻き込まれ、命を落としていきました。

それは大変悲しい出来事でした。犠牲者の数だけでは語れない、たくさんの苦しみが沖縄には残っています。沖縄は、戦争の悲惨さを色々な角度から伝えてくれるのです。

PNIを深めるキーワード

“ガマ”

沖縄県は「琉球石灰岩」という鉱物で形作られています。この石灰岩が島のあちこちに洞窟を作り出しています。この洞窟のことを沖縄では「ガマ」と呼びます。

ガマは戦時中、防空壕として使われました。内部がかなり広くなっているガマの中にはあるため、単に空襲から避難するだけでなく、病院などとして利用されました。もちろん、民間人も一緒にその中で生活していました。

ガマは真っ暗です。そしてぬかるんでいます。でも外には出られません。戦闘が行われており、大変危険だからです。病院として利用されているので、人々のうめき声が聞こえます。



“不発弾”



たくさんの船が押し寄せ、大量の艦砲射撃がありました。それは「暴風雨」と称されるほどでした。その爪痕は今も各地に残っています。毎年様々な場所から不発弾が見つかります。不発弾は「爆発しない」のではなく「爆発しなかった」のです。何かの衝撃で爆発する可能性は大いにあります。

「今、私たちの歩いている道路の下にもあるかもね。不発弾」そんな発言を聞き、ゾッとしたのを覚えています。

Peace Now!Okinawaとは？

Peace Now!Okinawaでは、フィールドワークを行い、沖縄の「日常」の中にある「非日常」を知っていきます。観光地としての姿だけでなく、過去の記憶と一緒に学んでいきます。沖縄の戦争の記憶と今について知り、自分の考えを持つことがPeace Now!Okinawaの目的です。たくさんの参加をお待ちして居ります。

昨年度の様子



フィールドワークを行い、
沖縄に触れることで
様々な知識を蓄えます。

フィールドワーク後はホテル
にて感想交流。知識を想い
へと消化し、自分のものに
する時間です。



今年度のコンテンツ案

証言

戦争体験者の方
の話を直接聞か
す。数年後にはもう
聞けない内容かも
しれません。

ガマ

ガマに入ります。
当時の人々の想い
を想像する貴重な
体験になります。

交流

現地で感じるもの
は人それぞれ。多く
の人との交流により、
様々な価値観に触
れます。

他にも

現地で感じるもの
は人それぞれ。多く
の人との交流により、
様々な価値観に触
れます。

諸々のお知らせ 今後の発信物/申込み×切

★今後の発信物

Peace Now! News vol.3

⇒Peace Now! Okinawaに関しては、vol.6で扱います。内容としては、セミナー当日
の詳細についてです。集合場所へのアクセス等、必要事項はこちらで確認をお願いします。

★申込×切

【8月1日(月)】×切

早めの申込をお願いします。



発行：全国大学生協同組合連合会 平和と社会的課題委員会

←Peace Now! 特設ページはこちら！

PeaceNow!2017に関するお問い合わせは全国大学生協連学生委員会まで
TEL: 03-5307-1124 FAX: 03-5307-1180 HP: <http://www.univcoop.or.jp/>
【沖縄担当 清水】Email: shimizuu.ryu@fc.univcoop.or.jp